



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日  
上場取引所 東

上場会社名 明和地所株式会社

コード番号 8869 URL <https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 原田 英明

問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理財務本部担当（氏名） 島津 基実 (TEL) 03(5489)0111

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	30,048	69.9	1,723	-	1,188	-	1,110	-
2023年3月期第2四半期	17,684	△25.7	71	△93.6	△527	-	△421	-

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 1,288百万円（-%） 2023年3月期第2四半期 △414百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	47.37	-
2023年3月期第2四半期	△18.00	-

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	117,225	30,311	25.9	1,292.74
2023年3月期	116,538	29,998	25.7	1,279.38

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 30,311百万円 2023年3月期 29,998百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	45.00	45.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	33.2	6,300	6.0	5,200	4.2	3,800	△13.9	162.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	23,447,684株	2023年3月期	23,447,684株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	23,447,684株	2023年3月期2Q	23,447,684株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

2023年11月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の国内における分類移行に伴い、社会経済活動正常化の動きが見られました。一方で、国内においては来年度の賃上げに向けた動きがある反面、持続的な物価上昇による実質賃金の減少から個人消費の停滞が懸念されます。また、海外における金融引き締めや、足元の地政学リスクの高まりが日本経済に与える影響等、先行きを注視していく必要があります。

当社グループの主力市場である首都圏マンション市場におきましては、建設コストの高騰等による販売価格の上昇、供給戸数の減少が続いているものの、低水準の住宅ローン金利が下支えとなり、これまで需要は底堅く推移してきました。しかし、国内においてマイナス金利の解除等についての議論が行われる環境となっており、今後の需要、販売状況については予断を許さないものと考えられます。

このような環境下、分譲事業においては、立地や利便性・住環境にこだわり厳選した用地取得を行うとともに、近年社会的関心が高まっているサステナビリティの観点から、環境に配慮したマンションの開発を推進しております。2023年7月に販売開始した「クリオ鶴見花月総持寺」、8月に販売開始した「クリオ大野城駅前」はZEH-M Oriented認定を取得しており、好評をいただいております。また、10月には「クリオ茅ヶ崎中海岸グランシック」(2023年3月竣工)が2023年度グッドデザイン賞を受賞し、周辺環境との調和を追求した当社のものづくりが高く評価されました。引き続き、環境配慮を含めた付加価値の高い商品の開発に努めてまいります。

重点強化事業である流通事業においては、買取再販・売買仲介が好調に推移しました。また、お客様の利便性向上と当社の業務効率向上を図るため、2023年8月には売買仲介における電子契約サービスを導入いたしました。今後もDXの推進等による充実したサービスの提供を進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における業績については、分譲マンションの引渡し戸数が前年同期と比較し増加したこと等から、売上高300億48百万円(前年同期比69.9%増)、営業利益17億23百万円(前年同期は71百万円)、経常利益11億88百万円(前年同期は経常損失5億27百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億10百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億21百万円)と増収増益となりました。

主力商品である新築分譲マンションについては、引渡し時に売上を計上しており、四半期ごとの売上高に偏りが生じます。2024年3月期については、第4四半期に引渡しが集中しておりますが、新築分譲マンションの通期売上計画600億円(引渡戸数1,000戸)に対して、当第2四半期末時点で、売上計上済みと契約済みとを合わせますと、計画の99%を確保しております。詳細につきましては、2023年11月13日に開示いたしました「2024年3月期 第2四半期決算説明資料」をご参照ください。

なお、当社は2023年9月にスタンダード市場への選択申請を行い、2023年10月20日付けでスタンダード市場へ移行しております。当社は、選択申請時においてもプライム市場の上場維持基準にすべて適合しておりましたが、東京証券取引所の規則改正に伴い、改めて当社の現状に適した市場区分について慎重に議論を重ねた結果、株主の皆様安心して中長期にわたり当社株式を保有していただくことのできる環境を確保するとともに、成長投資に注力することで、企業価値の向上につなげていくことが最も適切であるとの結論に至り、スタンダード市場への移行を決定いたしました。詳細につきましては、2023年9月25日に開示いたしました「スタンダード市場への選択申請に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2024年3月期第1四半期連結会計期間より、「新中期経営計画」における事業区分及び現状の事業体制とセグメント区分とを一致させ、より明瞭な情報開示を行うため、事業セグメントを変更いたしました。変更後の当社事業セグメントは、「分譲事業」、「流通事業」、「管理事業」、「賃貸事業」及び「その他事業」の5セグメントとなります。

#### ① 分譲事業

分譲事業におきましては、売上高197億79百万円(前年同期比108.4%増)、セグメント利益13億1百万円(前年同期はセグメント損失2億14百万円)となりました。

#### ② 流通事業

流通事業におきましては、売上高69億59百万円(前年同期比38.9%増)、セグメント利益3億47百万円(同30.5%増)となりました。

#### ③ 管理事業

不動産管理事業におきましては、売上高28億2百万円(前年同期比6.2%増)、セグメント利益1億87百万円(同21.3%増)となりました。

## ④ 賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、売上高3億90百万円（前年同期比13.9%減）、セグメント利益1億51百万円（同22.1%減）となりました。

## ⑤ その他

その他事業におきましては、売上高は1億15百万円（前年同期比25.1%増）、セグメント利益48百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

詳細につきましては、2023年11月13日に開示いたしました「2024年3月期 第2四半期 決算説明資料」をご参照ください。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,075億58百万円となり、前連結会計年度末比33億15百万円増加いたしました。これは現金及び預金が14億56百万円、販売用不動産が6億54百万円減少した一方で、仕掛販売用不動産が55億59百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は96億66百万円となり、前連結会計年度末比26億28百万円減少いたしました。これは土地が7億58百万円、投資有価証券が18億84百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比6億87百万円増加し、1,172億25百万円となりました。

## (負債)

流動負債は461億93百万円となり、前連結会計年度末比19億68百万円増加いたしました。これは電子記録債務が27億95百万円減少した一方で、短期借入金が18億87百万円、1年内返済予定の長期借入金が53億1百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は407億19百万円となり、前連結会計年度末比15億94百万円減少いたしました。これは長期借入金が16億32百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総負債は前連結会計年度末比3億73百万円増加し、869億13百万円となりました。

## (純資産)

純資産は303億11百万円となり、前連結会計年度末比3億13百万円増加いたしました。これは配当金10億55百万円の支払い、親会社株主に帰属する四半期純利益11億10百万円の計上によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は25.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末比14億40百万円減少し、323億70百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、83億29百万円の資金の減少（前年同期は162億43百万円の減少）となりました。これは棚卸資産49億31百万円の増加、仕入債務35億28百万円の減少等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、23億34百万円の資金の増加（前年同期は2億67百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の売却による収入10億46百万円、投資有価証券の売却による収入16億73百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、45億55百万円の資金の増加（前年同期は66億3百万円の増加）となりました。これは新規プロジェクトの長期借入れによる収入115億66百万円、プロジェクトの終了等に伴う長期借入金の返済による支出78億97百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,147	32,690
受取手形及び売掛金	195	137
販売用不動産	7,015	6,361
仕掛販売用不動産	61,371	66,930
営業貸付金	401	399
未収還付法人税等	3	—
その他	1,107	1,039
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	104,242	107,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,202	2,027
土地	5,170	4,412
その他（純額）	172	459
有形固定資産合計	7,544	6,899
無形固定資産		
ソフトウェア	59	58
のれん	12	10
その他	179	171
無形固定資産合計	251	240
投資その他の資産		
投資有価証券	1,932	48
繰延税金資産	1,107	1,023
退職給付に係る資産	255	256
その他	1,262	1,257
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	4,499	2,526
固定資産合計	12,295	9,666
資産合計	116,538	117,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,586	3,853
電子記録債務	15,448	12,653
短期借入金	8,887	10,774
1年内返済予定の長期借入金	7,649	12,950
未払費用	232	266
未払法人税等	524	62
前受金	4,250	3,977
賞与引当金	444	455
役員賞与引当金	122	53
株主優待引当金	69	4
その他	2,009	1,143
流動負債合計	44,225	46,193
固定負債		
長期借入金	41,321	39,689
役員退職慰労引当金	243	226
退職給付に係る負債	211	224
その他	537	580
固定負債合計	42,314	40,719
負債合計	86,539	86,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	5,395	5,395
利益剰余金	21,245	21,380
株主資本合計	30,178	30,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△175	—
退職給付に係る調整累計額	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	△180	△2
純資産合計	29,998	30,311
負債純資産合計	116,538	117,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,684	30,048
売上原価	13,190	23,200
売上総利益	4,493	6,847
販売費及び一般管理費	4,422	5,123
営業利益	71	1,723
営業外収益		
受取利息	0	0
違約金収入	31	42
助成金収入	9	6
貸倒引当金戻入額	2	0
その他	22	21
営業外収益合計	64	71
営業外費用		
支払利息	404	491
控除対象外消費税等	187	—
その他	71	115
営業外費用合計	662	606
経常利益又は経常損失(△)	△527	1,188
特別利益		
固定資産売却益	—	78
投資有価証券売却益	—	66
ゴルフ会員権売却益	6	—
特別利益合計	6	144
特別損失		
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	—	71
特別損失合計	2	71
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△522	1,261
法人税、住民税及び事業税	19	66
法人税等調整額	△120	83
法人税等合計	△100	150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△421	1,110
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△421	1,110



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△421	1,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	175
退職給付に係る調整額	7	2
その他の包括利益合計	7	178
四半期包括利益	△414	1,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△414	1,288

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△522	1,261
減価償却費	102	120
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	△17
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△65
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△68
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	404	491
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△66
投資有価証券評価損益(△は益)	—	71
固定資産売却損益(△は益)	—	△78
固定資産除却損	2	0
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△6	—
売上債権の増減額(△は増加)	304	61
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,180	△4,931
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8	△1
その他の資産の増減額(△は増加)	172	314
未収消費税等の増減額(△は増加)	△161	144
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,920	△3,528
その他の負債の増減額(△は減少)	424	△1,343
未払消費税等の増減額(△は減少)	△99	74
その他	72	68
小計	△15,544	△7,467
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△473	△461
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△162	△336
その他	△62	△65
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,243	△8,329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△264	△232
定期預金の払戻による収入	180	249
有形固定資産の取得による支出	△130	△398
有形固定資産の売却による収入	—	1,046
無形固定資産の取得による支出	△16	△4
投資有価証券の売却による収入	—	1,673
子会社株式の取得による支出	—	△9
その他	△35	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267	2,334
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	826	1,887
長期借入れによる収入	12,329	11,566
長期借入金の返済による支出	△5,713	△7,897
配当金の支払額	△819	△974
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,603	4,555
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,907	△1,440
現金及び現金同等物の期首残高	27,452	33,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,544	32,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	分譲事業	流通事業	管理事業	賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,489	5,009	2,639	453	17,592	92	17,684	—	17,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	—	22	82	112	898	1,011	△1,011	—
計	9,496	5,009	2,662	536	17,704	990	18,695	△1,011	17,684
セグメント利益又は損失(△)	△214	266	154	194	400	△29	371	△300	71

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住設企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3億円は、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3億20百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	分譲事業	流通事業	管理事業	賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,779	6,959	2,802	390	29,933	115	30,048	—	30,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18	74	93	1,245	1,338	△1,338	—
計	19,779	6,959	2,821	465	30,026	1,360	31,387	△1,338	30,048
セグメント利益又は損失(△)	1,301	347	187	151	1,987	48	2,035	△312	1,723

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住設企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3億12百万円は、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3億40百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結累計期間より、「新中期経営計画」における事業区分及び現状の事業体制とセグメント区分とを一致させ、より明瞭な情報開示を行うため、事業セグメントを変更いたしました。変更後の当社事業セグメントは、「分譲事業」、「流通事業」、「管理事業」、「賃貸事業」及び「その他事業」の5セグメントとなります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	分譲事業	流通事業	管理事業	賃貸事業	計		
一時点で移転される財	9,457	4,966	2,600	21	17,046	81	17,128
一定の期間にわたり移転される財	—	—	39	—	39	—	39
顧客との契約から生じる収益	9,457	4,966	2,639	21	17,086	81	17,167
その他の収益	31	42	—	432	506	10	516
外部顧客への売上高	9,489	5,009	2,639	453	17,592	92	17,684

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住設企画販売事業等を含んでおります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	分譲事業	流通事業	管理事業	賃貸事業	計		
一時点で移転される財	19,759	6,915	2,764	29	29,469	108	29,577
一定の期間にわたり移転される財	—	—	38	—	38	—	38
顧客との契約から生じる収益	19,759	6,915	2,802	29	29,507	108	29,616
その他の収益	20	44	—	361	425	6	432
外部顧客への売上高	19,779	6,959	2,802	390	29,933	115	30,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住設企画販売事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結累計期間より、「新中期経営計画」における事業区分及び現状の事業体制とセグメント区分とを一致させ、より明瞭な情報開示を行うため、事業セグメントを変更いたしました。変更後の当社事業セグメントは、「分譲事業」、「流通事業」、「管理事業」、「賃貸事業」及び「その他事業」の5セグメントとなります。

なお、前第2四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、当第2四半期連結累計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。